



晴れの日、記念はがきに思いを込めて(平成28年成人式)

平成27年12月定例会は、11月30日から12月21日まで22日間の会期で開催されました。
 この定例会では、平成26年度の各会計歳入歳出決算(詳細は2面に掲載)を認定するなど、38件の市長提出議案を可決・認定・同意しました。議員提出議案は、都市農地の保全と農業振興の推進に関する意見書など2件を可決しました。
 また、12月1日から3日間にわたり、26人の議員から70件の一般質問がありました。

12月定例会

平成27年度一般会計補正予算(第2号) など40議案を可決

—平成26年度各会計歳入歳出決算を認定—

新しい年を迎えて



副議長 滝口幸一



議長 宮寺賢一

新年おめでとうございます。市民の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、日ごろから市議会に対し、ご理解とご協力を賜り、市議会を代表して厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、小平市におきましては、昭和51年から開始された小平市民まつりが第40回を迎え、市民が心一つにして交流と触れ合いの輪を広げた記念すべき節目の年となりました。また、子ども・子育て支援新制度や、いわゆるマイナンバー法の施行、教育委員会制度の改革など、大きな制度転換が市民生活にさまざまな影響を及ぼす中、市民に最も身近な議会として、改めて市民の皆様が安心して生活していただける施策の必要性を痛感した一年でもありました。

そのような中、市議会におきましては、昨年4月の統一地方選挙により、市民の皆様から信託をいただいた28人の市議会議員が選出され、新たな構成でスタートをいたしました。

今日の市政を取り巻く環境は、依然として厳しい状況でございますが、今後も市民の皆様への期待に応えられますよう、議員一同、決意を新たに全力を尽くしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

また、市議会では、平成26年3月に制定した議会基本条例の理念を達成するため、昨年は委員会での委員間の自由討議や文書による質問を市長に対し行ったほか、政策立案・政策提言の実施に向けて各常任委員会が動き出したところでございます。引き続き、市民の皆様にとってわかりやすく、開かれた市議会を目指し、継続して議会改革に取り組んでまいります。新春に臨み、市議会に対しさらなるご理解とご協力をお願いいたしますとともに、本年が皆様にとりまして笑顔の絶えない幸福な一年となりますことを心より祈念いたしました。新年のごあいさつとさせていただきます。

◆議員の寄附行為や時候のあいさつ状は禁止されています。

議員は、選挙区内の人に、お金や物を贈ることや、時候のあいさつ状(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことは法律で禁止されていますので、ご理解をお願いいたします。

